



Rotary



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



ジョン・ドジャーム 2016-17年度R1会長

No. 14

会 長 長 井 典 夫
 幹 事 白 石 隆 夫
 クラブ会報委員長 齋 藤 達 雄
 第 4 週 2016年11月25日 (金)
 例 会 毎週金曜日 12時30分
 例 会 場 ホワイトイン高崎
 事 務 所 高崎市本町144-1
 光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
 http://www.takasakisympathy-rc.org
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見 洋子
 本日のプログラム ゲスト卓話
 米山奨学生
 ゲン、ティー ヴァン アン 様
 ロータリーソング それでこそロータリー

出席報告

会 員 数	42 名
出席計算人数	42 名
本日出席者	27 名
本日出席率	64.29%
先々週出席率	83.33%

幹事報告

- ・例会変更
- ・『第17回青少年少女合唱団群馬県フェスティバル』ご招待状 (藤岡RC)
- ・神戸東灘RC週報
- ・国際ロータリー年次大会 (アトランタ大会) ツアー案内
- ・ハイライトよねやま

委員会報告

- ・ニコニコBOX
 坂 憲夫君 (11月誕生日として、長井会長にお預りしてきていただきました)
 西園 勲君 (金子さんの活躍を祝し)
 柴崎 晟君 (11月御誕生日祝)
 小野垣義男君 (")
 池田 貴明君 (")
- ・ロータリー財団BOX
 三浦 敦朗君 西野 宏君 浦野 幸男君
- ・米山奨学会BOX
 長井 典夫君 島崎 真澄君 浦野 幸男君
 柴崎 晟君
- ・親睦委員会

12月17日クリスマス家族例会のお便りを本日記布いたしました。家族皆様で奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

・茶道部

本日第2回茶道部体験会が例会後にありますので当日申込受付中です。ぜひご参加ください。

第 951 回例会報告

第3週 11月18日 (金)

会員卓話 クラブ研修リーダー 金子秀隆君
『ロータリー財団100年の歩み』



御来訪者 0名



次回例会予告

第1週12月4日(日)

地区補助金事業

『ロータリアンと子どもたちのX'mas』

時間 9:30 集合準備(子どもたちと一緒に)

11:00 X'mas会開始

14:00頃 終了予定

会場 高崎市勤労青少年ホーム 体育館

(高崎市並榎町123 TEL323-6732)

11月18日のお食事



如是我聞・ ロータリー

金子秀隆

「ロータリーとは何か？」限られた紙幅に合わせ大風呂敷を広げてしまうのは、無理があります。ロータリーは実践の哲学と言われます。ロータリーの様々な面を全て体験できるわけではありません。個々のロータリアンにそれぞれのロータリーがあると思うのです。

「群盲象を評す」という言葉があります。インドの寓話で、大勢の目の不自由な人たちが、象を触りました。ある人は「扇の様な耳を持つのが象だ」といい、ある人は「柱のような足を有するのが象だ」「いや長い鼻が象である」などと譲りません。

体験のみで語る。このようなことは、目が不自由な人ばかりではなく、むしろ健常者の私たちに多いのではないのでしょうか？扇の様な耳を体験し、長い鼻や柱のような足を想像して象全体に想いを致すことがなければなりません。

地区の財団関連の会議に出たときのことで。始

めに挨拶をしたパストガバナーは、「ロータリーは財団と会員増強さえやっていたらよい」と述べました。恐らく財団の委員に対して励ましの言葉を言いたかったのでしょう。しかし想像を欠いた言葉だと思えます。

ロータリーの事業は多岐に渡ります。米山記念奨学事業・RYLA・青少年交換留学事業・ローターアクト・インターアクト等々、ロータリー財団に関する事業以外にも様々なものがあります。それらも含めてロータリーは活動しています。

「如是我聞」という仏教用語があります。お経の始まりに良く使うそうです。「かくの如く我聞けり」と読み、私は(お釈迦様の話を)このように聞いたという意味です。お釈迦様は別のお話もするし、このお話も深い意味があるかもしれないが私はこう(理解し)聞いた。

如是我聞には、体験と想像のバランスがあると思えます。他の事を尊重しつつ自ら体験したことを述べる。ロータリーに関しても、未体験の事柄を尊重しつつ自ら調べてわかったことを語る機会を得たいと思えます。

私の得意分野は歴史です。歴史は過去のことではありません。現在の事柄がなぜこうなっているのかを過去にさかのぼって明らかにすることです。現在を明らかにするための手段として、過去をたずねるのです。

ロータリーはなぜ昼食を取るのか？初期のシカゴRCは、職場持ち回りで開催していました。第6回例会に昼食をとっていたため遅刻した会員がいて、次回からレストランを持ちまわる会合になったそうです。

ロータリー年度開始を7月1日したのは、全米ロータリー連合会の大会に由来します。1910年8月17日第1回大会の翌日18日に最初の会計年度が始まりました。財務報告の準備などに時間が必要となり、1913年より6月30日を会計年度の最終日としたそうです。

このような身近なものでも100年以上の前の出来事に端を発していたりします。こういったことも踏まえつつ現在の活動にも経験をつんでいければと思います。また、身近で古い由来など少しずつでも書いていけたらと考えています。